

みんながつながる ちがさきの地域福祉プラン 「福祉活動にかかる人たちを育てよう」

市民後見人育成の取り組みについて

→判断能力が不十分になつても地域での生活を支える人材の育成→

「生活課題に対応する活動・サービスの充実を目指して」

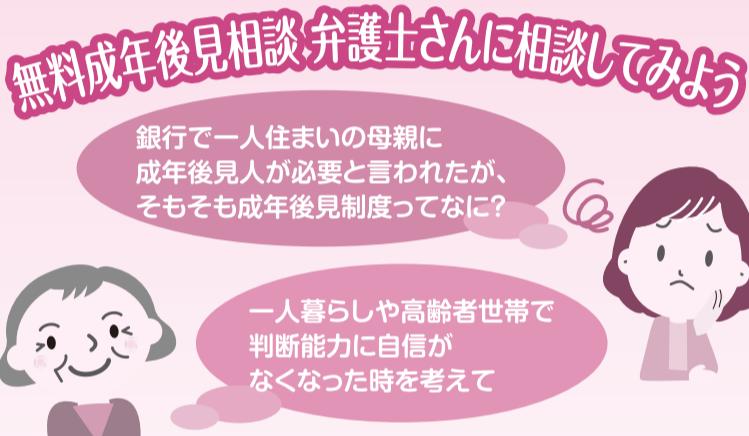
市社協は、茅ヶ崎市における地域福祉の向上を図るため、「私たちは、一人ひとりを尊重し、いきいきと心豊かに暮らせるまちをつくります」を基本理念とした「みんながつながるちがさきの地域福祉プラン(以下、「地域福祉プラン」という。)」に基づき、市民や地区社協ボランティア、関係機関の皆様とともに様々な活動を進めています。

地域福祉プランの行動目標6「福祉活動にかかる人たちを育てよう及び行動目標8「みんなで困りごとを受け止め、安心につなげよう」に向けた取り組みとして、活動に当たる専門職の育成とスキルアップを図り、その活動が充実するよう取り組んでいます。

「今求められる、判断能力の不十分な方への支援」

高齢化の進展や一人暮らしの高齢者の増加、障害者福祉施策における要請などを背景に、判断能力が不十分な方への支援がより求められています。認知症や障害などにより判断能力が不足な方の財産の管理や、ご本人の権利を守り生活を支援する制度として、「成年後見制度」があります。その活動は親族の他、第三者としては弁護士、司法書士、行政書士、社会福祉士等土業の方が担っていますが、今後、ますますこの制度の需要が高まると考えられます。そうした中、新たな担い手として注目されているのが市民後見人です。

あんしんセンターからのお知らせ



とき: 偶数月の第1水曜日
13時15分～16時55分 (40分間)
平成30年12月5日
平成31年2月6日
ところ: 市社協 相談室
受付: 予約制 (相談日前月の1日～相談日前日)
対象: 市内在住者・市内在住者を支援する事業所や相談所等
定員: 毎回5名 (先着順) *時間の指定はできません。
お申込・お問合せ: 市社協あんしんセンター ☎ (85) 1066

平成29年度の市民後見人養成講座実践研修では5名が修了認定を受けました。そのうち4名の方が、法人後見サポートに登録し、受任に向けて実務研修を進めています。

今後も本人の意思を大事にして、地域の皆様とのつながりを持ちながら、緩やかな見守りの中で支援を行うことができるように向けて取り組みを進めています。

寄附者ご芳名(敬称略)
受領期間: 平成30年5月30日～平成30年9月30日

▼カトリック茅ヶ崎教会
バザー委員会
▼イトーヨーカドー
労働組合茅ヶ崎支部
▼ムーンスター・ズジユニア
スポーツクラブ
▼小松澤美千代
▼ホル山下モー子
ほか匿名5名

「市民後見人養成の取り組み」

いただいたご寄附は、ボランティアグループ・当事者団体の活動支援等、本会の行う社会福祉事業の充実に活用させていただきました。どうもありがとうございました。

ふれあい交流祭 いよいよ!
老人福祉センター最大の事業であるふれあい交流祭は、11月17日(土)～18日(日)に開催されます。利用団体から選出された実行委員を中心に現在準備中です。どうぞお楽しみに!

世代間交流事業「3B体操」
老人福祉センターは文字通り高齢者のための施設ではありますが、多世代交流のための取り組みを昨年度から実施しています。昨年度は一緒に歌を歌う機会「うたごえライブ」を企画しました。今年度は「緒に体を動かす機会として「3B体操」を開催します。0歳から100歳まで楽しめてください!」

**自主事業
「元気に歩いて郷土の歴史を再発見」**
「ちがさき丸ごとふるさと発見博物館の会」の協力で毎年開催しています。今年度は10月19日(金)に萩園地区を歩いてきました。



茅ヶ崎市老人福祉センターのご案内

「ありがとう福祉会館」閉館イベントの開催
昭和45年(1970年)5月に開設されて以来、福祉活動の拠点として市民に利用されてきた「茅ヶ崎市福祉会館」が平成30年12月をもって閉館になります。長年にわたりお世話になった福祉会館利用者からの感謝の気持ちを贈るイベントを開催します。
とき: 平成30年12月9日(日) 10時～15時頃
ところ: 福祉会館
主催: 「ありがとう福祉会館」実行委員会(海岸地区まちぢから協議会・茅ヶ崎南地区まちぢから協議会)
後援: 茅ヶ崎市・市社協

**自主事業
「元気に歩いて郷土の歴史を再発見」**
「ちがさき丸ごとふるさと発見博物館の会」の協力で毎年開催しています。今年度は10月19日(金)に萩園地区を歩いてきました。